

商店会数769から694に減少 商店数2万5千から2万1千に激減

この間、千葉県内の商店街は衰退の一途です。商店会数は2010年に769ありましたが、2016年には694へと1割も減りました。商店会に加盟している会員数も、2万5612から2万1222へと2割近く減っています。

しかし商店街は、単に物を売り買いするだけの場所ではありません。地域に明るさや安心感をもたらし、人と人とのつながりを広げ、お祭りなどで地域の文化や伝統も後世につないでおり、まさに地域の宝です。

ところがそれを支える千葉県の商店街振興予算は昨年度4970万円しかなく一商店会当たり7万円程度。しかも予算が少ないのに決算額は3184万円で使いきれいでません。要望を聞いて予算に計上しても、要望したところから申請がないからで、担当課は「商店会で合意が得られないことや自己負担分が支出できないことなどが理由」としています。補助金は3分の1を商店街自身が負担しなければならず、これが重荷になっているため、県の補助率の引き上げなどが必要です。

〔千葉県内の商店会と会員数の推移〕

	商店会数	加盟商店数
2010年	769	25612
2016年	694	21222
差し引き	▲75	▲4390
減少率	▲9・8%	▲17・1%

交通事故死者数は全国2位なのに 信号機設置数は毎年減少

昨年、千葉県内の交通事故死者数は185人で道府県で2番目に多くなっています。しかし信号機設置要望は972件（昨年度）もあるのに、実際の設置数はわずか60基で、毎年減り続けています。しかも新規設置数の中には、新しくできた道路への設置も含まれているため、既存の道路への設置数はさらに減ります。

県警本部の決算を対象にした11月8日の決算委員会では理由を質したところ、「予算が限られているため」との答弁でした。しかし「財政局に何基分要望しているのか」と重ねて聞きました。

〔県全体の信号機設置数〕

年度	全体	新設道路	既設道路
2013	90	19	71
2014	80	21	59
2015	60	14	46
2016	60	19	41

※「新設道路」は新しく出来た道路への設置
「既設道路」はすでにある道路への設置

千葉県の企業誘致補助金は 1社に70億円もの大判振る舞い

企業を誘致するための千葉県の「企業立地補助金」は、大企業も支給対象にしており、この間、京成電鉄（2014年度1290万円）やQVCジャパン（2012年度3億3583万7千円）などの大企業にも支出されています。1社に対する最高額は70億円にもなります。

10月18日に開かれた県議会決算審査特別委員会で「なぜ体力のある大企業にまで出しているのか」と質すと、当局は「雇用の促進などの効果があるの」で相手を問わずに補助している」と述べました。

そこで「どのくらい雇用が あったのか」と聞くと、「昨年度は1330人」と答えました。しかし「そのうち正社員はどのくらいか」と重ねて聞くと、「把握していない」との答弁でした。雇用効果についても正社員に限定していないため、全員非正規でも70億円ももらえることになりません。

千葉県は、2006年5月、茂原市で開業した日立の子会社・IPSアルファテックノロジに50億円を補助しましたが、わずか4年でパナソニックに売却され、工場も姫路に移転してしまいました。このとき、正社員は全員日立からの出向で、新規雇用はすべて非正規雇用でした。

決算委員会では、このことも指摘して雇用の条件は正社員に限定し、大企業への補助は見直すよう求めました。

船橋港の巨大道路計画 当局が先送りを決定

10月19日、千葉港港湾計画を議論している地方港湾審議会の幹事部会が開かれ、県当局が進めようとしていた船橋港（千葉港葛南地区）の巨大道路計画について、10年以上先送りすることが明らかになりました。

千葉県では今年1月、20年から30年を計画期間とする「千葉港長期構想」を策定しましたが、コンテナ取扱量が20年後には3倍、30年後には4倍になるなどという過大な目標を根拠もなく想定し、それに対応する必要があるとして30haもの埋め立て計画や「臨港道路」と称する巨大な道路建設を船橋港で進めることを打ち出しました。

現在、この構想にもとづく事実上の実行計画「千葉港港湾計画」（計画期間は10年程度）の取りまとめが進められており、来年5月に決定する予定となっています。その中で、葛南地区に計画されていた巨大な「臨港道路」は、「将来も取り扱い貨物量はそれほど多くはならない」との理由で外されることになったのです。

日本共産党は、いち早く巨大な無駄遣い計画について県議会に取り上げ、根本から見直すように求めてきました。また、「三番瀬を守る連絡会」なども建設中止を求める要望を県に行ってきました。今回の措置はこうした働きかけが実ったものと言えます。

一方で千葉港千葉中央地区で計画されている30haの埋め立て計画はそのまま港湾計画に掲載されており、依然として無駄遣いが大きな部分を占める計画となっています。